

イベント・助成金プログラム情報

9月に開催する広報や助成金をテーマにしたイベントをご紹介します。
団体運営の一助に、ぜひご参加ください。

詳細・ご予約は
コチラ！



9/1 (木) 10:00~17:00

講座のみ
要予約

誰でも気軽に立ち寄れる地域活動つながりの場

まちカフェ!オープンデー

この日のオープンデーでは「参加したくなるイベントチラシを作ろう講座」を開催します。ご自分で作ったチラシを持ち寄りながら、「参加してほしい人に来てもらう」チラシについて考えます。詳細はサポートオフィスホームページよりご確認ください。



▲7月に開催したまちカフェ!オープンデーの様子

〔会場〕町田市役所2F 市民協働おうえんルーム
(町田市森野2-2-22/小田急線町田駅西口から徒歩8分)

9/27 (火) 10:00~11:30

要予約

〔みんなの経験共有会 vol.5〕

助成金を活用してみた経験共有会

毎月一人ひとりの経験や挑戦を市民の知にしていこう「みんなの経験共有会」。9月は、助成金を活用して事業を進めた経験をお話いただきます。また、助成財団の職員の方にも登壇いただき、助成する側・受ける側のリアルなお話を共有いただきます。



▲6月に実施したvol.3の様子

〔会場〕町田市生涯学習センター7階ホール
(町田市原町田6-8-1/JR町田駅北口から徒歩約3分)

助成金情報

秋は、多くの助成プログラムの募集が始まる季節です。各助成団体から送られてきたパンフレットや申請書をサポートオフィスで配架しています。また申請書の書き方などのご相談も随時受けておりますので、お気軽にご相談ください。ここでは、子どもや公園に関する活動への助成プログラムをご紹介します。

子どもたちの幸せを支える地域活動を応援!

東急子ども応援プログラム

この助成プログラムは、子どもが安全で安心できる場を提供する活動、子どもの「生きる力」の向上につながる活動など、子どもを取り巻く社会課題の解決を目指し、子どもたちの幸せを支える地域の活動を助成対象としています。また、対象団体の条件として「活動地域が東急線沿線の市区内である」とありますので、町田市は該当地区です。2年間の助成を受けることが可能な、魅力的な助成プログラムです。

応募締切日 9/15 (木)

〔詳細〕
東急株式会社「東急子ども応援プログラム」
<https://kodomo.tokyu.co.jp/>



公園で実現したい夢・やりたい夢を表彰!

公園・夢プラン大賞

本大賞は、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・表彰するもの。「実現した夢」部門と「やりたい夢」部門の2部門で募集しており、副賞でギフト券が贈られます。応募フォームもA4サイズ1枚とシンプルなので、公園でワクワクする取り組みを実施されている市民の方や活動団体の皆さんにおすすめです。

応募締切日 9/30 (金)

〔詳細〕
一般財団法人 公園財団「公園・夢プラン大賞」
<https://yumeplan.prjf.or.jp/caution.html>



Now

まちだづくりカレッジ開講中!

Topics

行政との協働のコツ

Information

イベント・助成金プログラム情報



Now

近況報告

まちだづくりカレッジ開講中!

組織のビジョンやミッションに基づく未来志向の「事業計画」を立てることをゴールとした全5回連続開催する講座(まちだづくりカレッジ)。本年度は「ベーシック」と「アドバンス」の2コースで実施中です。9月の最終回に行う事業計画発表会に向け、各コースともに熱のこもった学びと対話の時間を過ごしています。メイン講師を務める長浜講師から、今年度のカレッジの様子についてのコメントを寄せてもらいました。

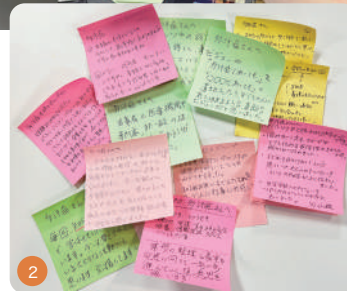


町田市地域活動サポートオフィス
事業統括ディレクター 長浜 洋二 講師から

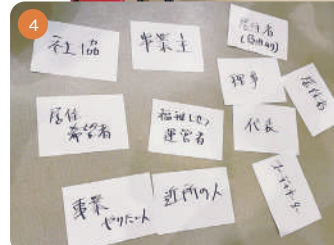
今年度は団体の多様性に応じてベーシック、アドバンスの2コースで展開。学びの階層がより深まり、参加の幅も広がりました。両コースの参加者が顔を合わせるのは初回と最終回ですが、「カレッジ」という目には見えない世界を関係者全員がしっかりと共有している感覚があります。最終回に向けて、それぞれのコースで得られた気づきや学び、そして体験をしっかりと目に見えるかたちで全体の場に伝えていきたいと思います。

〔ベーシックコースの様子〕

①第3回のワークショップでは対話を深めながら、事業計画を可視化していきましました。
②ベーシックコースの冒頭では、団体ごとに宿題を発表する時間が毎回あります。参加者は付せんに感想や改善点などを書き、発表した団体へ渡します。「自団体だけでは気が付けない指摘をもらえるので、本当に宝物です!」という声も寄せられました。



学びと対話を深めながら、最終回の発表に向けて進行中!



〔アドバンスコースの様子〕

③④自団体の利害関係者を書き出し、自分かもしその紙に書いてある立場の人だったら、団体に対しどんな声や思いが出てくるかをロールプレイしている受講生のみなさん。いつもとは異なる立場を演じることで、なかなか気がつかない小さな声に意識を向けることができ、団体の今後のあり方をより深く考察できました。

➡ 次回のまちだづくりカレッジの開催・参加募集は、来年度を予定しています。

サポートオフィスでは、講座以外でも団体運営や事業計画立案のサポートを行っております。お気軽にご相談ください。



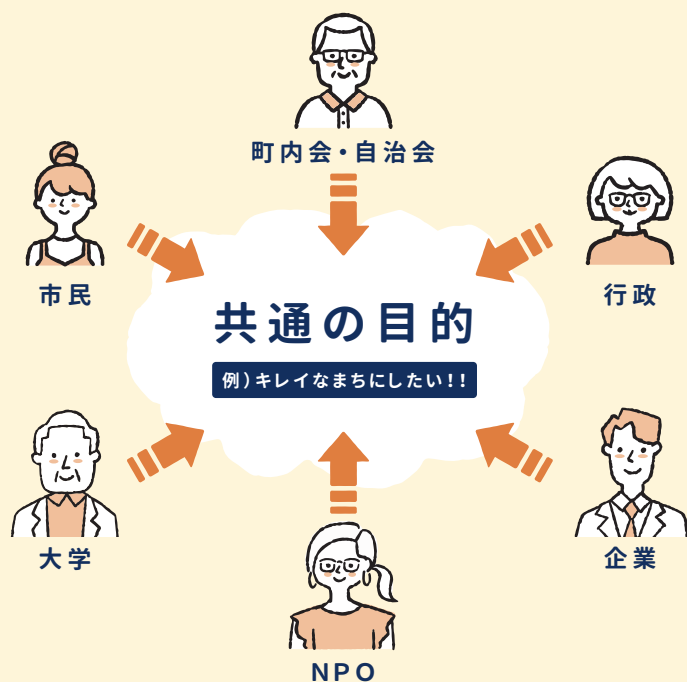
行政との協働のコツ

【協働から共創へ】

まちづくりは、協働を前提に目的設定の前段階から対話を重ねていく「共創」へ

現代は社会課題が多様化し、一つの団体での課題解決が難しい時代。そこでよく耳にするようになったのが「協働」「共創」です。町田市「協働による地域社会づくり」推進方針(2012年度)では、それぞれを下記のように定義しています。多様な組織が互いを尊重し合いながら、未来を見据えて価値を創り出すことができる事業が地域のあちこちで生まれることで、魅力的なまちづくりが進むことが期待できますね。

「協働」とは、地域の多様な主体が、お互いを尊重しながら、共通の目的を達成するために協力して活動すること。
「共創」とは、多様な主体が、なりたい未来を思い浮かべながら、課題解決に向けたアイデアを持ち寄り、試行錯誤することで、新たな価値を創り出すこと。



CASE STUDY アダプト・ア・ロード事業

プチ講座では、行政が用具等を支給し、地域団体が道路の美化・清掃活動を行ったアダプト・ア・ロード事業が紹介されました。協働事業を始めるポイントを見ていきましょう。

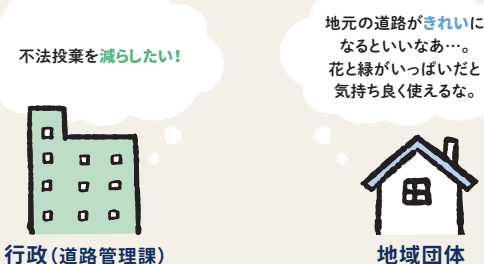
お互いの想いの共通項を掘り下げていくことが大切!

「地元の道路を花や緑できれいにしたい」と思っていた団体と「不法投棄という社会課題に対し効果的な事業を実施したい」と考えていた行政。繰り返し話し合いを行い、「道路をきれいにする」という共通目的を掲げ、花壇整備を進めることにしました。

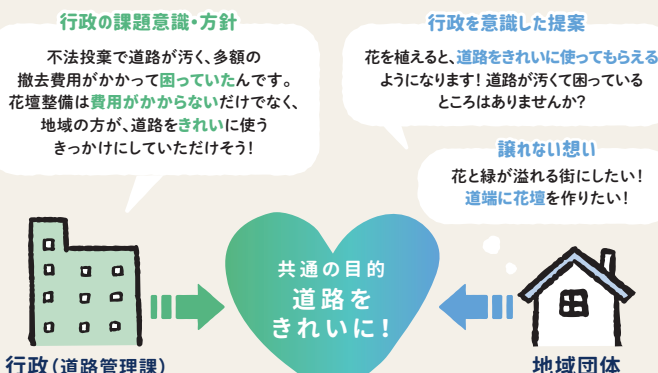
互いの想いや立ち位置を尊重し合い、丁寧に共通目的を作り上げたことが、協働事業をスムーズに進めるポイントだったようです。不法投棄が目立っていた道路が花や緑のあふれる場所に変わっただけではなく、様々な団体が事業に関わることで、当事者意識が生まれ、地域の人たちや通行人が道路をきれいに使うきっかけになったそうです。



〈お互いの想いや役割を考える〉



〈想いや役割から共通目的を見つける〉



毎月1回開催している〈まちカフェ! オープンデー〉。

誰でも気軽に立ち寄れる地域活動のつながりづくり、相談の場として、毎回多くの方にお越しいただいています。

7月7日に開催したオープンデーでは、市民協働推進課の職員の方が行政との協働のコツについてお伝えするプチ講座を開催しました。

ここからは「行政との協働のコツ」についてポイントを絞ってご紹介します。



【行政と協働・共創を進めるときのポイント】

POINT 01 「絶対に譲れないポイント」を考えてみる

自分たちの「やりたい」と思ったきっかけや想いを書き出してみましょう。その中で、絶対に叶えたい・譲れない個所はどこかを明確にします。



POINT 03 行政の役割や方針を調べてみる

行政が地域活動に対して「期待していること」や行政として「できること」「得意なこと」があります。それらを知ることで、自分たちの「やりたいこと」との共通ポイントが探しやすくなります。



POINT 02 活動の意義やその効果を客観的に考えてみる

行政の事業の対象者は、特定の団体ではなく、広く地域の方に向けられています。事業実施前後で地域全体がどう変化するか、その事業に関心のない人を引き付ける意義や効果を考えてみましょう。



POINT 04 比べてみる

他県・他エリアで、似たような事業をしている人や団体はいませんか? 先進事例には、事業を進めるヒントがたくさん詰まっています。



町田市が発表している事業計画を見て、行政の役割や方針、地域課題に関する統計データ等を探ってみる

行政との「共通目的」を探るヒントとして活用できるのが、市が策定している計画や条例です。数年ごとに改定を加えながら、住みよい町田づくりに向けた方針がまとめられています。各計画には、根拠となる統計データもふんだんに盛り込まれているので、団体の事業計画をつくる際にも役に立ちます。各計画や条例は、町田市のホームページで公開されています。地域活動と福祉の領域にまたがる計画である「町田市地域ホットプラン」は、サポートオフィスでも冊子を閲覧できますので、この機会にぜひご覧ください。

PICK UP

現在公開されている主な計画や条例の一例

- 町田市地域ホットプラン
- 新・町田市子どもマスタープラン
- 町田市いきいき長寿プラン21-23
- 町田市第4次農業振興計画
- 第3次町田市環境マスタープラン



▲「町田市地域ホットプラン」では、市民アンケート調査結果を始めた統計データや計画上の取り組みを進める市役所内の担当部署名の記載があります。協働事業を進めるヒントとして活用ください。

⇒ 地域との繋がりを作りながら、団体活動をさらに活性化させていく「行政との協働」についても、サポートオフィスでご相談を承っています。いつでもご相談ください。